

# 東京都遺族連合会 平和の語り部通信

発行所  
〒112-0003  
東京都文京区  
春日1-14-4  
東京都戦没者霊苑内  
一般財団法人  
東京都遺族連合会  
電話03(3812)1796番

す。国民の九割が戦後生まれで、戦後の厳しい社会生活状況を知らず、風化しつつある中で、戦争の悲惨さと平和の尊厳を身をもって知っている私たち遺族が、「絶対に戦争をしてはいけない。私たちのような遺族を出してはならない」との強い決意のもと、自由で希望に満ちた社会の増進に努力していく必要があります。



### 新年のご挨拶

元日本遺族会長 古賀 誠

困難なことであります。が、私たちにしか語ることができない体験を今こそ若い世代に伝えることを使命として、私も微力ながら後継者の育成に努めてまいります。

### 令和八年行事計画表(予定)

1月15日(木)	拜礼式、正副会長会
1月22日(木)	東京都筑波島戦没者追悼式
2月25日(水)	海外戦跡慰霊巡拝(台湾・パシフィック海峽)
3月15日(日)	春分慰霊追悼式、正副会長会、女性部、平和の語り部事業推進委員会合同研修会
3月31日(火)	理事・評議員合同会議
3月下旬	靖国神社参拝
3月下旬	拜礼式、正副会長会、理事会、女性部長会
5月15日(金)	千鳥ヶ淵戦没者墓苑拜礼式、評議員会
5月下旬	千鳥ヶ淵戦没者墓苑参拝
6月中旬	連合会研修旅行
7月15日(水)	拜礼式、霊苑みたままつり、正副会長会
8月15日(土)	全国東京都戦没者追悼式
9月下旬	日本遺族会第27ブロンズ会議
10月15日(木)	秋分慰霊追悼式、正副会長会、理事会、女性部長会
10月中旬	千鳥ヶ淵戦没者墓苑秋分慰霊参拝
10月下旬	東京都南地域戦没者追悼式
12月上旬	全国戦没者追悼式
12月15日(日)	拜礼式、正副会長会、女性部長会



### 新年のご挨拶

東京都遺族連合会会長 宇田川 剣雄

明けましておめでとう。皆様におかれましては、新たな気持ちで新年をお迎えになられたことお慶び申し上げます。近隣中国との関係等、日本を取り巻く環境は日々変化し、話し合いの大切さを痛感しています。

令和八年の新春を迎え、日本を取り巻く環境は日々変化し、予断を許さずして現在、日本遺族会は平和の尊厳、戦争の悲惨さを次世代へ語り継ぐため、学校教育にも語り部を取り入れるなど、平和を希求する活動に取り組んでまいります。

そのような中、私たちが戦没者遺族は一貫して、「二度と戦争をしてはならない」「私たちのような遺族をだしてはならない」と固く心に誓い、恒割を占め、戦争の記憶を継承していくことは極めて重要な活動です。

望んでいることは何か常に心に刻み、戦没者遺族の誇りを忘れることなく、これからも、ともに平和を希求する活動に取り組んでまいります。

結びに、寒さが一段と厳しく折れ、くれぐれも、移とせていただきます。

「平和の語り部」は、小池都知事はじめ各地区代表の遺族が参列の地、海外慰霊巡拝を奉願いたしました。本年は、昨年にも増し、平和の語り部活動を通じて、益々健康で多幸な年となりますよう心より祈念し、新年のご挨拶と致します。

「平和の語り部」によるウクライナへの軍事侵攻は依然として終結の兆しがなく、ウクライナの住民、国が疲弊して意を表し、恒久平和への決意を新たにしたいところ係等、日本を取り巻く環境は日々変化し、話し合いの大切さを痛感しています。

「平和の語り部」によるウクライナへの軍事侵攻は依然として終結の兆しがなく、ウクライナの住民、国が疲弊して意を表し、恒久平和への決意を新たにしたいところ係等、日本を取り巻く環境は日々変化し、話し合いの大切さを痛感しています。

「平和の語り部」によるウクライナへの軍事侵攻は依然として終結の兆しがなく、ウクライナの住民、国が疲弊して意を表し、恒久平和への決意を新たにしたいところ係等、日本を取り巻く環境は日々変化し、話し合いの大切さを痛感しています。

「平和の語り部」によるウクライナへの軍事侵攻は依然として終結の兆しがなく、ウクライナの住民、国が疲弊して意を表し、恒久平和への決意を新たにしたいところ係等、日本を取り巻く環境は日々変化し、話し合いの大切さを痛感しています。

「平和の語り部」によるウクライナへの軍事侵攻は依然として終結の兆しがなく、ウクライナの住民、国が疲弊して意を表し、恒久平和への決意を新たにしたいところ係等、日本を取り巻く環境は日々変化し、話し合いの大切さを痛感しています。



### 昭和百年「記憶の継承」を普遍的課題へ 「平和の語り部」の先頭に立つ決意を胸に

一般財団法人  
日本遺族会会長 水落 敏 栄

「遺族の皆様にはお元氣で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。遺族会の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。中でも、終戦八十周年の節目となった昨年は「記憶の継承」が社会的課題として、各方面で取り上げられ、さまざまな全国の「遺族会」の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。

「遺族の皆様にはお元氣で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。遺族会の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。中でも、終戦八十周年の節目となった昨年は「記憶の継承」が社会的課題として、各方面で取り上げられ、さまざまな全国の「遺族会」の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。

「遺族の皆様にはお元氣で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。遺族会の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。中でも、終戦八十周年の節目となった昨年は「記憶の継承」が社会的課題として、各方面で取り上げられ、さまざまな全国の「遺族会」の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。

「遺族の皆様にはお元氣で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。遺族会の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。中でも、終戦八十周年の節目となった昨年は「記憶の継承」が社会的課題として、各方面で取り上げられ、さまざまな全国の「遺族会」の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。

「遺族の皆様にはお元氣で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。遺族会の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。中でも、終戦八十周年の節目となった昨年は「記憶の継承」が社会的課題として、各方面で取り上げられ、さまざまな全国の「遺族会」の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。

「遺族の皆様にはお元氣で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。遺族会の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。中でも、終戦八十周年の節目となった昨年は「記憶の継承」が社会的課題として、各方面で取り上げられ、さまざまな全国の「遺族会」の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。

「遺族の皆様にはお元氣で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。遺族会の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。中でも、終戦八十周年の節目となった昨年は「記憶の継承」が社会的課題として、各方面で取り上げられ、さまざまな全国の「遺族会」の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。

「遺族の皆様にはお元氣で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。遺族会の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。中でも、終戦八十周年の節目となった昨年は「記憶の継承」が社会的課題として、各方面で取り上げられ、さまざまな全国の「遺族会」の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。

「遺族の皆様にはお元氣で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。遺族会の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。中でも、終戦八十周年の節目となった昨年は「記憶の継承」が社会的課題として、各方面で取り上げられ、さまざまな全国の「遺族会」の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。

「遺族の皆様にはお元氣で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。遺族会の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。中でも、終戦八十周年の節目となった昨年は「記憶の継承」が社会的課題として、各方面で取り上げられ、さまざまな全国の「遺族会」の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。

「遺族の皆様にはお元氣で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。遺族会の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。中でも、終戦八十周年の節目となった昨年は「記憶の継承」が社会的課題として、各方面で取り上げられ、さまざまな全国の「遺族会」の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。

「遺族の皆様にはお元氣で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。遺族会の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。中でも、終戦八十周年の節目となった昨年は「記憶の継承」が社会的課題として、各方面で取り上げられ、さまざまな全国の「遺族会」の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。

「遺族の皆様にはお元氣で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。遺族会の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。中でも、終戦八十周年の節目となった昨年は「記憶の継承」が社会的課題として、各方面で取り上げられ、さまざまな全国の「遺族会」の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。

「遺族の皆様にはお元氣で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。遺族会の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。中でも、終戦八十周年の節目となった昨年は「記憶の継承」が社会的課題として、各方面で取り上げられ、さまざまな全国の「遺族会」の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。

「遺族の皆様にはお元氣で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。遺族会の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。中でも、終戦八十周年の節目となった昨年は「記憶の継承」が社会的課題として、各方面で取り上げられ、さまざまな全国の「遺族会」の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。

「遺族の皆様にはお元氣で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。遺族会の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。中でも、終戦八十周年の節目となった昨年は「記憶の継承」が社会的課題として、各方面で取り上げられ、さまざまな全国の「遺族会」の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。

「遺族の皆様にはお元氣で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。遺族会の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。中でも、終戦八十周年の節目となった昨年は「記憶の継承」が社会的課題として、各方面で取り上げられ、さまざまな全国の「遺族会」の語り部も大きく注目を集め、全国で五〇〇回余、聴講者は十万人を越えました。



東京都南方地域戦没者追悼式

追悼のこトばを述べて

台東区戦没者遺族会 豊田 迪子

戦後八十年の節目の追悼式が十月二十四日である令和七年度の日沖繩県米須の「東京都南方地域戦没者 京の塔」にて挙行され、



前日まで何度も練習し、当日はとても緊張しましたが、大役を果たすことができました。母や祖母からの話によると、父は一人娘の母に一目惚れし、豊田家の養子として、浅草下谷地区で、身重の妻、姉、義母三人で細々ながら明るく幸せな生活を過ごしていました。昭和十八年、四十二歳で召集され、私が生ま

海外戦跡慰霊巡拝

グアム、サイパン、テニアン島 慰霊巡拝に参加して

東京都遺族連合会新宿区 斉藤 光江

海外戦跡慰霊巡拝団による追悼式が、令和七年二月二十五日から二十八日にサイパン島で開催されました。私は、戦没者の子という立場で参加させていただきました。

今回は、サイパン島からテニアン島に小型機で巡拝ということで、事務局の勧めもあり渡島しました。テニアン島は、



心被打れました。マリカ記念公園内資料館に遺族の方が、日本から持参したお米を供えたり、参加者全員で「ふるさと」を合唱しました。追い詰められた人々が海に身を投げたというクリフに再び、アメリカ軍の発進基地として整備された。残念ながら、グアム島には、天候が悪く飛行機が飛ばず行けませんでした。

親が家族を殺す等恐ろしい状況が繰り広げ「追悼のこトば」に、

地区遺族会だより

「戦後80年 日章旗が遺族の元へ」

大田区遺族連合会会長 萩原 秀邦

日本遺族会が実施している「戦没者等の遺留品返還事業」の一環で、硫黄島で戦死された大田区出身の天明さんの日章旗を、ご遺族にお返しすることが出来ました。

令和7年12月7日、戦没者が出征したであろう門前で、大事に包まれた日章旗を出迎えてくれた夫妻が、「おかえりなさい」と大きな声でお迎えました。日章旗を目にした時、一緒に居た私も、手を合わせながら涙が止まりませんでした。



その後、池上本門寺にある戦没者慰霊塔に夫妻を案内し、戦没芳名録の昭和20年3月17日の欄に氏名を確認し、大変感激されていました。

今回の遺品の返還は、関係各位への感謝とともに、フィリピンネグロス島で戦死した父への思いと重なり、嬉しく温かい気持ちになりました。

遺品展示室

見学者の声より

- 映像を見て、この事をきちんと伝えていきたい。(中学1年生)
● 私とほぼ同じ年の人が80年前だと戦地に赴き、「大君の爲に散らん」の寄せ書きを貰うとは・・・決してあってはならない。(10代)
● 同じ年齢の方が亡くなっていった80年前。今の時代を生きる若者としての責任を重く感じました。(24歳)
● 戦争の悲惨さを痛切に感じ永遠の平和を祈ります。(69歳男性)
● 最新のことばを読んでいるうちに、それに引き込まれ胸が一杯になりました。(10代)
● ここでの思い出はたくさんあり、人生に大きな影響を与えました。(20代)
● 展示室を見て、自分の目で学んで自分の頭で解釈することが一番だと感じました。(受験生)
● 若くして亡くなられた方々を思うと、本当に切なく絶対に戦争はしてはいけないと改めて思いました。(48歳女性)
● 戦争の恐ろしさ悲惨さ、残酷さを学び続けたい。(大学生)
● 今の自分にできることはないか考えるきっかけになりました。家族の幸せを守りたいです。(大学生)
● 戦死された方がいたからこそ今の私達がいるのでとても複雑な気持ちです。いつか本当の意味で世界平和が訪れる日を心から願っています。(16歳)
● やっと訪れることができ、とても勉強になりました。(高校2年生)
● 大学の課題のため来ました。大切な人を守るために私達はどうするべきか深く考えるきっかけになりました。(大学生)
● 命を奪い、奪われることを、いかなる理由でも正当化しない未来が来ることを心から願います。
● 自分と同じ年齢の青年達がたくさん亡くなっている。繰り返してはいけない。忘れてはいけない。ここに眠る方々も生きていく。

女性部・青壮年部 だより

- 日本遺族会 終戦80周年記念事業として「全国戦没者慰霊大祭」を靖国神社で開催し、九段会館テラスで「平和の語り部大会・青年部結成の集い」を行い、東京都遺族連合会から6名が参加しました。
・日時 令和7年6月29日(日)
・場所 靖国神社・御本殿 九段会館テラス 3階真珠の間

- 8月15日の東京都戦没者追悼式は、文京シビック大ホールを会場に挙行され、連合会からは約300名が参加し、女性部・青壮年部員21名が、受付、会場等案内を担いました。
今年平和の尊さを伝えるため、中学生、高校生の参列を促し、43名が参列しました。

- 日本遺族会は、女性部「平和の語り部研修会」を開催し、東京都遺族連合会から7名が参加しました。
・日時 令和7年12月6日(土)
・場所 九段会館テラス

